

■藤井寺市民まつり（しゅらまつり）

○メインステージ「帰ってきたまなりくん」

恒例の藤井寺市民まつりが9月22日に行われました。

当会は「古市古墳群を世界遺産に」をテーマに寸劇「帰ってきたまなりくんを舞台上で演じました。

あらすじは真成くんの帰国を待ち望む人々が千手観音様をお願いすると願が叶い、真成くんが藤井寺に帰って来ると言う設定です。メンバーはそれぞれ手作りのコスチュームに身を包み時代を彷彿とさせました。その中で「紙芝居 とべとべ座」による大型紙芝居「とべとべルカ」がニヶ国語で演じられました。また、女性8人による観音さまの千手のパフォーマンスは、評判となり、地元のコミュニティ紙でも掲載されました。

最後には帰ってきた真成くんを囲み会場の皆さんと一緒に「古市古墳群世界文化遺産の登録を実現しよう！エイエイオー」のエールで華やかに幕を閉じました。

終了後は真成くんが立ち寄ったとされる五島列島の椿飴をプレゼントし、握手会でも真成くんは人気を博しました。真成くんを中心に世界文化遺産登録に向けての周知が出来たと思います。

最後にご協力いただきました川上恵氏・「紙芝居・とべとべ座」の皆さまに感謝申し上げます。



○テントブース

午前中は昨年に続き世界遺産クイズと子供さんを対象にした折り紙をしました。用意したプレゼント240個はあっという間になくなるほど次々と大勢のお客さんが来られました。折り紙でお相撲さんを折る時には難しそうな顔をする子もいましたが、折りあがったお相撲さんをボール箱の上でとんとんと叩いて遊ぶ紙相撲は大喜びでした。

午後からは紙芝居の新作「赤椋の木」他2作を上演し、「うっかり雷」では扮装した会員の雷夫婦が登場し、子供さんと一緒に手遊びもしました。その後の手品では不思議そうに見つめる子、声掛けで身を乗り出して挑戦する子などもあり、大人も子供も演じる者も笑いに包まれ今年もテントブースは大盛況でした。

